

2 いま新鮮!
食いねえ江戸野菜。
ちやぶだい「東京復活プロジェクト」

4 亀戸大根、五十年

12 華のお江戸の野菜自慢
特別寄稿
まぼろしの江戸野菜はよみがえるか 大竹道茂

22 江戸の衣食住を楽しむ町 小金井

26 編集長の思い出和スイーツ
「わらびもち、ひやくこくて おいしいよ」

28 環境を考える人
「京都議定書記念シンポジウム」ゲスト対談
加藤登紀子

34 フード・マイレージに見る日本の食事情
坂本龍一

36 纏う、繕う、きもの。
〈特集〉きものが扉を開いてくれる、日本の美とこころ。
まと つくろ

38 襷袢のいのち 古布作家 永松朝子
たんにすに埋もれている和服をリサイクル

54 昔きものにぞつこん ゲスト 中村健一
特別寄稿
もったいないを形にしたきもの 乾淑子

60 きもので和稽古しましよ
香道を習う／落語を習う

63 きもの転生
58 お手玉
59 袱紗入れ
62 綿入れ
74 雑巾

75 ちやぶだい通販倶楽部
爛漫と遊ぶ・通販ご注文方法

83 ちやぶだいセレクション シャンソン・アルバム

84 昭和歌謡は、ここからはじまった。 もりちゃん

90 本が纏う、本を愛でる。 橋本佳園子さんのブックカバー

92 第一回銀座懷箸倶楽部のご報告

96 編集後記

表紙版画：小林敏也

©本誌の企画・掲載の記事、写真、イラストレーションの全ては著作権で保護されております。無断複製、転載を厳禁します。

チャブダイ ノココロ

一つひとつ丁寧

手づくりされた暮らしのモノには

やわらかい丸みと温かみがあります。

八百万(やおよろず)の神に感謝し、

さりげない日常をいとおしむ。

それは、世がどう変わろうとも

自然をいたわり人を愛せる

日本人がほんの百年くらい前まで

持っていたココロです。



本来「道具」は、道(みち)を達成するための具(もの)。

農業も農道と考えられ、「農具」は道を究めるためにあった。

農民たちは生活のためだけでなく、誇りをもって農具を磨き、手入れをした。